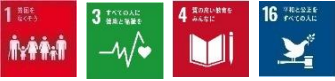


こども支援部

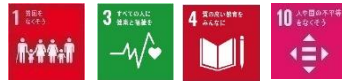
組織目標



こども支援部は、こども支援課（こども政策室、こども家庭センター、児童発達支援センター）・保育幼稚園課（10 保育所）・青少年課（児童センター・青少年活動センター・学童保育室）で構成し、子育て家庭への経済的支援、こどもと子育てに関する各種相談、総合的な児童発達支援、保育所（園）・幼稚園等に関すること、就学児童の放課後対策、青少年の健やかな成長に関する施策に取り組んでいます。

こども支援部の目標（令和7年度）	こども支援部長
<p>【部の基本方向】</p> <p>「こどもまんなか社会の実現」のため、「全てのこどもが健やかに心豊かに育ち、全ての家庭が安心して子育てができるまち いるま」を基本理念に、こどもの夢や生きる・学ぶ・育つ権利が守られ、こども自身が学びやすい、遊びやすい、住みやすいと感じられるような、こどもの権利を大切にすまちを目指します。</p>	
<p>【部の重点方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 こどもや若者の最善の利益を第一に考え、こども・若者・子育て当事者の視点を尊重しながら「入間市こども計画」を推進します。 2 「妊娠期から青年期まで切れ目のない支援」体制の整備に努め、安心して子育てができる環境を醸成します。 3 元気なこどもの育ちを支援し、すべてのこども・若者が健やかに成長し、自立、活躍できる社会を目指します。 	
<p>【課の目標（達成すべき目標）】</p> <p>【こども支援課】</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1 こども家庭センターにおいて、母子保健・児童福祉の両輪で、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、切れ目なく漏れなく対応します。 2 ヤングケアラー・コーディネーターを中心に、学校や事業者・団体との連携を強化するとともに、シンポジウムを開催し普及啓発を図ります。 3 児童発達支援センターにおいて、「児童発達支援センター事業計画（第2期）」に基づく進行計画及び事業実施計画を作成し、相談支援・児童発達支援・地域支援をバランス良く実施します。 	<p>【目標の達成度合】</p> <p>【こども支援課】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 母子保健と児童福祉の連携により、こどもや子育て家庭に対する支援に取り組みました。また、サポートプランの本格運用に向けた準備も進めることができました。 2 引き続き地域連携強化を図る一方で、単なる普及啓発ではなく、取組を踏まえた新たな施策を打ち出して、全国に発信するシンポジウムを開催することができました。 3 計画期間5年間の進行計画と当年度の事業実施計画を作成できました。また、相談支援の委託化により地域支援を充実させ、バランスの良い事業実施ができました。

【こども政策室】



4 「入間市こども計画」を着実に推進するため、指標や事業を適切に点検・評価することのできる進行管理体制を構築します。

【保育幼稚園課】



5 令和8年4月から「こども誰でも通園制度」を実施できるよう体制を整備します。

6 「発達が気になる子」に寄り添い、その児の特性に適した環境の整備に取り組みます。

【青少年課】



7 より質の良い育成支援を推進するため、公設学童保育室の運営について検討を進めます。

8 児童センターでは、地域住民等と協力しながら、こどもの視点や意見を取り入れた事業の充実を図り、来館者の増加を目指します。

・利用者数目標値：118,000人

9 青少年活動センターは、自然に囲まれた立地を生かし、青少年等の多様な体験活動を促進するとともに、多くの方々に利用していただけるようにPRや安全安心な施設の管理・運営を行います。

・利用者数目標値：27,000人

4 計画の進行管理のため、審議会と庁内組織の役割分担や連携等について改めて整理し、点検・評価を適切に行う準備を整えることができました。

5 「こども誰でも通園制度」について、令和8年4月1日から、1施設において実施できる体制を整えました。

6 全公立保育所でCLMに取り組むとともに、より実践的な研修を行い、その児の特性に応じた適切な支援を行うための環境整備に取り組みました。

7 公設学童保育室の運営について、こども・子育て審議会答申を踏まえ、令和8年度からの保育料改定を行うとともに、全ての公設学童保育室の民営化を進めました。

8 児童センターでは、中高生タイムの導入やこどもたちによる懇話会の実施のほか、こどもの意見を反映した新たな事業を実施しました。

・令和7年度来館者数：121,322人

9 青少年活動センターの自然に囲まれた立地を生かし、「森のクリスマス会」や「デイキャンプたいけん」、「日暮れの森のかんさつ会」など、屋外の体験事業を実施しました。

・利用者数：24,131人